

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【公開番号】特開2013-188573(P2013-188573A)
【公開日】平成25年9月26日(2013.9.26)
【年通号数】公開・登録公報2013-052
【出願番号】特願2013-133696(P2013-133696)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月28日(2014.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者が操作可能な操作手段と、前記操作手段の外周を覆う取付ベースと、を備えた遊技機において、
前記操作手段は、発光手段と、前記発光手段を被覆する被覆部材と、を備え、
前記発光手段は、
発光体と、
前記発光体からの光を誘導するための導光部と、
前記発光体からの光を拡散するための拡散シート部と、を備え、
前記被覆部材は透光性を有し、
前記取付ベースは、前記操作手段が取り付けられた状態で、前記遊技機に取り付けられる
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記拡散シート部は、前記導光部に重畳して配設され、前記導光部と前記被覆部材とにより挟持される
ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技機は、遊技球が転動可能な遊技領域を有する遊技盤と、
前記遊技領域に遊技球を発射する発射装置と、
前記発射装置により発射される遊技球を溜め置く玉受皿を備え、
前記取付ベースは、前記玉受皿に形成された凹部に取り付けられる
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

このような目的を達成するために、第 1 の発明は、遊技者が操作可能な操作手段と、前

記操作手段の外周を覆う取付ベースと、を備えた遊技機において、
前記操作手段は、発光手段と、前記発光手段を被覆する被覆手段と、を備え、
前記発光手段は、
発光体と、
前記発光体からの光を誘導するための導光部と、
前記発光体からの光を拡散するための拡散シート部と、を備え、
前記被覆部材は透光性を有し、
前記取付ベースは、前記操作手段が取り付けられた状態で、前記遊技機に取り付けられ
る
ことを特徴とする遊技機としたことである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

第２の発明は、第１の発明において、前記拡散シート部は、前記導光部に重畳して配設され、前記導光部と前記被覆部材とにより挟持されることを特徴とする遊技機としたことである。

第３の発明は、第１又は第２の発明において、前記遊技機は、遊技球が転動可能な遊技領域を有する遊技盤と、

前記遊技領域に遊技球を発射する発射装置と、

前記発射装置により発射される遊技球を溜め置く玉受皿を備え、

前記取付ベースは、前記玉受皿に形成された凹部に取り付けられることを特徴とする遊技機としたことである。